

無所属

校門でのあいさつ運動!
継続中!

目黒の学校を守ります

よしのまさと

吉野正人

証紙

W24mm×H17mm

■掲示百任者：井堀 真/
目黒区八雲 2-18-5
■印刷所：セントラル印刷株式会社/
文京区音羽 1-20-14 MBS 音羽ビル 2F

地域の声を子どもたちの未来へつなげていきます!

2005年4月～2006年3月 八雲学童保育クラブ父母会長

★キャンプでは、ビキニ、ふんどしを着用し大爆笑!

2006年4月～2009年3月 目黒区立八雲小学校PTA会長

★会長スピーチ時には「チューリップ」などを壇上で歌い、子どもたちを引きつける!

2008年4月～2009年3月 目黒区立小学校PTA連合会会長

2009年4月～2010年3月 目黒区立第十中学校PTA会長

★区連合体育大会ではスタンドから大声で生徒たちを応援しすぎたため、他校からクレームも…

2009年4月～2010年3月 目黒区立中学校PTA連合会役員

2009年4月～2011年3月 目黒区立八雲小学校学校評議員

2009年度、2010年度 八雲住区住民会議「八雲の夏まつり」実行委員長

★オープニングイベントの仮装は毎年好評!?

2010年4月～2015年3月 東京高等学校 親師会 (PTA) 常務委員 (2014年度副会長)

2011年度～2014年度 中央大学父母連絡会東京都南部支部にて活動

2015年度～2018年度 駒澤大学教育後援会厚生部にて活動 (2018年度厚生部部长)

八雲子どもデーでは
バナナマンに!



令和4年第4回定例会にて一般質問



目黒区中学校ソフトテニス新人大会優勝!

■現在/八雲町会会長、目黒消防団第12分団副分団長、柿の木坂商和会副会長、目黒青色申告会第12支部役員、目黒区立八雲小学校校友会幹事、目黒区立第十中学校校援会幹事、目黒区立第十中学校ソフトテニス部コーチ、目黒区綱引連盟役員

PROFILE / 吉野正人プロフィール

1966年7月30日 目黒区柿の木坂に生まれる

1973年 ベテル幼稚園卒園

1979年 目黒区立八雲小学校卒業

1982年 目黒区立第十中学校卒業

1985年 日本大学鶴ヶ丘高等学校卒業

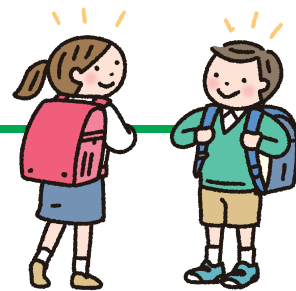
1985年 日本大学商学部入学

1989年 家業の鮮魚店「魚由」にて三代目として親子で商売に励む。
後、税理士事務所勤務

2011年 地域の子どもたちを守るため、目黒区議会議員選挙出馬。初当選

2019年 3期目当選

議会では、決算特別委員会副委員長、区有施設・生活圏域整備計画調査特別委員会副委員長、文教・子ども委員会委員長、都市環境委員会委員長を歴任



あいさつを気楽に交わせるまちづくり 校門での『あいさつ運動』18年目継続中！

吉野正人とは？

吉野正人はこれまで、八雲学童保育クラブ父母会長・目黒区立八雲小学校 PTA 会長・目黒区立小学校 PTA 連合会会長・目黒区立第十中学校 PTA 会長・目黒区立八雲小学校学校評議員・八雲住区住民会議「八雲の夏まつり」実行委員長など、子どもたちと地域の大人たちとの懸け橋として活動してきました。

その間、行政にしかできないこと、行政に対する不満を感じ、自ら地域の声を行政に反映させるため、12年前の目黒区議会議員選挙に出馬し初当選しました。

初当選から12年が経ちましたが、この12年間、初心を忘れず、現場の生の声を聞き、その声を区政に活かすため、数多くの区民相談を行い、その都度、区役所の担当者と区民目線で話をしてきました。

これからも、子どもたちがずっと暮らし続けたいと思える目黒をつくるため、24時間365日、働き続けます。

部活動の充実

部活動の地域移行等の対応をしっかりとおこない更に充実した部活動とします。

午前5時間制

午前5時間制の検証をしっかりとおこない子ども目線での対応となるようにします。

吉野正人の地域に対する考え方

議員になる前から行っている「校門でのあいさつ運動」も18年目を迎え、地域で会う子どもたちと笑顔であいさつを交わせるようになりました。「校門でのあいさつ運動」を始めるきっかけは「地域の子もたちの顔を覚える」「地域の子もたちから私の顔を覚えてもらう」ためでした。

なぜなら、当時、子どもたちが犠牲になる事件が発生し、子どもたちは、知らない大人から声を掛けられると、不審者と思うようになり、大人も子どもたちへ声が掛けづらくなっていったからです。本来であれば、地域全体で子どもたちを見守らなければならないのに…。

そこで「校門でのあいさつ運動」を行うことにより、子どもたちとお互いに顔見知りになり、地域で会った時には、気楽に言葉が交わせるようになればよいと考えました。

地域の大人と子どもたちが気楽にあいさつを交わしている町には、犯罪者が子どもに近づきにくく、結果的に犯罪が発生しない安全・安心な町になっていくはずです。そして、目黒の学校を守ることは、目黒の子どもたちを守ることに。

これからも「あいさつを気楽に交わせるまちづくり」のために「校門でのあいさつ運動」を続けていきます。そして、地域の声を子どもたちの未来へつなげていきます。

働き方改革

学校業務改善をしっかりとおこない教員への負担軽減に努めます。